残留塩素センサ EW-510-S

取扱説明書

このたびは、タニタ残留塩素センサEW-510-Sをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、取扱説明書をよくお読みください。
また、必要なときに読めるように保管してください。

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

⚠警告　この表示を無視して、誤った取扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う恐れのある」内容を表示しています。

⚠注意　この表示の欄は、「傷害を負う恐れまたは物的損害が発生する恐れのある」内容を表示しています。

⚠警告

- **少なくとも1週間に1回はDPD試薬式残留塩素計と比較し、ずれていれば校正してください。測定が1日50回以上になる場合は、1日に1回は校正してください。プール・浴場を測定する場合は参考値とし、洗浄を定期的に行ってください。**
  安全のため、複数の測定器で塩素濃度を管理してください。

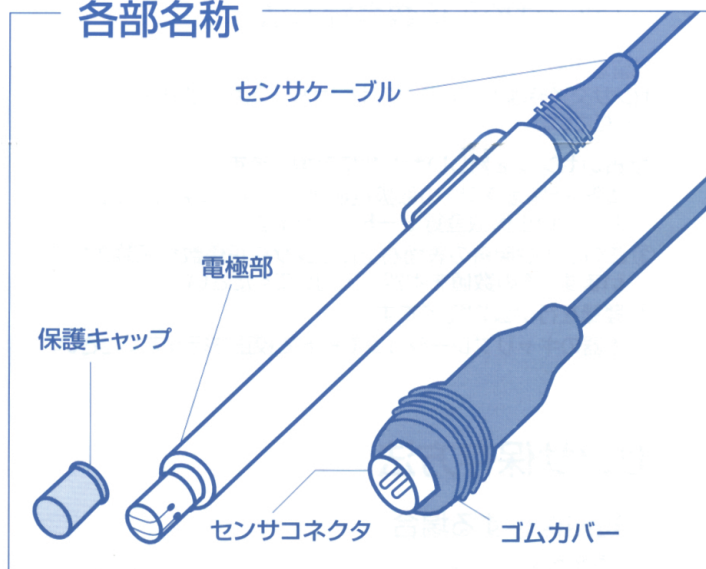
⚠注意

- **分解や改造は絶対にしないでください。**
  けがや使用不可能になる恐れがあります。
- **過度の衝撃や振動を与えないでください。**
  故障の原因になります。
- **温度・湿度変化の激しい場所、及び保存温度範囲外での保管は避けてください。**
  故障する恐れがあります。
- **残留塩素測定以外の用途での使用は行わないでください。**
- **油の中に入れないでください。**
  故障の原因になります。
- **電極部には傷をつけないでください。**
  正しい値を表示出来なくなる恐れがあります。
- **コネクタ部は濡らさないでください。**
  故障の原因になります。
- **子供の手の届かないところに保管してください。**
- **冷泉・温泉・鉱泉・井戸水・アルカリイオン水・3mg/L以上の塩素濃度の水及び強酸性・強アルカリの水には浸けないでください。**
  故障の原因になります。

⚠注意（測定上のご注意）

- 測定は、センサでサンプル液をかき混ぜながら行ってください。
- 測定は、測定温度範囲内（5.0～60.0℃）のサンプル液で行ってください。この温度以外で測定する場合は参考値としてください。
- サンプル液によっては、応答性・再現性が悪くなるものがあります。残留塩素計EW-510取扱説明書5ページの"測定する液体について"を参照してください。
- センサを初めてご使用なさる場合や長期（1週間以上）保存した後、または周囲温度と水温に10℃以上差がある場合に測定を行う場合は、電極部を1分以上サンプル液に浸けて電極部をなじませてください。その後、センサを水から出し、電極部に付いた水分を振り払ってから測定してください。
- 浄水が酸性（pH約6.5以下）または低温（約5～10℃）の場合、残留塩素が含まれていない状態でも「0.00mg/L」と表示されないことがあります。また本器周囲温度が低温（～10℃）や高温（35℃～）の場合、センサが空気中であっても「0.00mg/L」と表示されない場合があります。
- サンプル液が低温（約5～10℃）の場合は測定値が正しく表示されない可能性がありますので校正されることをお勧めします。（9ページ参照）
- 測定は可能な限り流水のもとで行ってください。溜め水では測定中に塩素濃度が変化する恐れがあり、正確に測定できない場合があります。
- 気泡が電極部に付着した状態では正確に測定できません。
- サンプル液を溜めるコップは、200ml以上のガラス製のものをご使用ください。
- 2つ以上のサンプル液を連続して測定し、かつその塩素濃度に0.5mg/L以上差がある場合、測定値が安定しないことがあります。
- 連続して測定する場合は、毎回測定終了後に水から出し、電極部に付いた水分を振り払ってください。
- 少なくとも1週間に1回はDPD試薬式残留塩素計と比較し、ずれていれば校正してください。測定が1日50回以上になる場合は、1日に1回は校正してください。（DPD試薬式残留塩素計は別途ご用意ください）
- 原水のpHが異なる場所で測定する場合は、校正を行ってください。
- センサを長時間（1時間以上）液体に入れたままにしないでください。センサが劣化し、寿命が短くなります。
- 測定するサンプル液によっては、校正が1回では正しく行われないことがあります。この場合は校正を何度か繰り返してください。（9ページ参照）

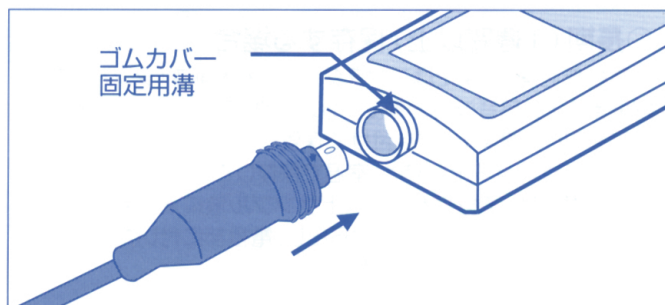
センサ校正係数　新しいセンサに交換する場合は、必ずこのセンサ校正係数を登録してください。（残留塩素計EW-510取扱説明書13ページ参照）

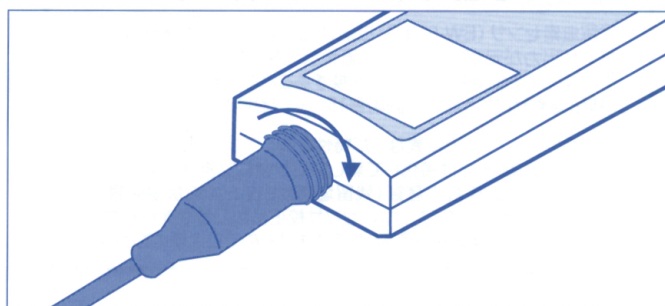
各部名称

センサの接続方法

本器とセンサ部を次の手順に従って接続してください。

❗注意　電池が切れていることを確認してください。また濡れた手や汚れた手でコネクタ部に触れないように十分注意してください。

① **本器のコネクタ部とセンサのコネクタ部のピン位置を合わせて差し込みます。**

❗注意　ピンの位置をしっかり合わせて差し込んでください。無理に差し込みますと故障の原因になります。

② **たわんでいるゴムカバーを回転させ、コネクタをしっかりと覆います。**

❗注意　ゴムカバーは本器に設けられた溝にしっかりはまるまで差し込んでください。

センサ交換時の初期設定
（センサ校正係数登録方法）

残留塩素センサはセンサごとに異なった特性を有しているため、センサ交換時は下記に従って、センサ校正係数の登録を必ず行ってください。

① 古いセンサを新しいセンサに交換します。
② 本器（残留塩素計）の取扱説明書（13ページ参照）に従って、センサ校正係数登録モードに入ります。
③ この取扱説明書の表面右上にセンサ校正係数が記載されています。その数値を本器に入力してください。
④ 登録を行い設定完了です。
⑤ 本器のキャリブレーションモードで校正を行ってください。

センサ保存方法

○短期保存する場合

〈水道水を測定した場合〉

ご使用後、浄水で電極部をきれいに洗浄し、その後布などで軽く水気をふき取り保護キャップを付けて保管してください。また、センサの劣化を早めないためにも、1週間に1回はコンタクトレンズ用洗浄液（タンパク分解酵素入）や超音波洗浄機で1分以上洗浄することをお勧めします。

〈プール、浴場等を測定した場合〉

測定毎にコンタクトレンズ用洗浄液（タンパク分解酵素入）や超音波洗浄機で電極部を1分以上洗浄してください。その後、布などで軽く水気をふき取り保護キャップを付けて保管してください。

○長期（1週間以上）保存する場合

電極部を浄水、またはコンタクトレンズ洗浄液（タンパク分解酵素入）や超音波洗浄機で1分以上洗浄し、布などで軽く水気を取り保護キャップを付けて保管してください。センサは直射日光や高温多湿を避け、室温で保存してください。再度使用する場合は、電極部を1分以上サンプル液に浸けてセンサをなじませた後、センサを水から出し、電極部に付いた水分を振り払ってから測定してください。

! 注意 長期保存後、センサをサンプル液でなじませずに残留塩素濃度の測定を行った場合、センサ出力が安定せず、正しい値を示さない場合があります。

MEMO ●センサ（EW-510-S）について

残留塩素センサ（EW-510-S）は消耗品です。センサが劣化するとセンサ出力が安定せず、正しい値を示さなくなります。2年間、または5,000回の使用をめどに交換することをお勧めします。
（残留塩素計EW-510取扱説明書15ページ参照）

センサは、センサごとに異なった特性を有しています。そのため、センサが破損、または劣化して新しいセンサに交換する場合は、必ずセンサ校正係数の登録（残留塩素計EW-510取扱説明書13ページ参照）を行ってください。センサ校正係数の登録を行わなかった場合、正しい測定を行うことができませんのでご注意ください。

仕　様

項目	内容
製品名	残留塩素センサ
型式	EW-510-S
測定方式	ガルバニ式
センサ電極	白金･塩化銀
残留塩素測定範囲（遊離残留塩素）	0.00～2.00mg/L　最小表示0.01mg/L
	2.01mg/L以上は「2.01mg/L」点滅表示
水温測定範囲	5.0～60.0℃　　最小表示0.1℃
	再現性：±1℃（安定時）
保存温度範囲	0～40℃　（周囲温度）
pH範囲	5.8～8.0
導電率範囲	50～1000μS/cm
測定対象	水道水
外形寸法	φ12×160mm
質量	約60g
材質	耐熱ABS
センサコード	約1m
付属品	取扱説明書･保護キャップ

再現性（25℃のとき）

範囲	再現性
0.00～0.80mg/L	±0.05mg/L
0.81～1.50mg/L	±0.10mg/L
1.51～2.00mg/L	±0.15mg/L

info: ベストウェイト健康講座 www.best-weight.ne.jp

株式会社タニタ

本社･東京営業所	〒174-8630	東京都板橋区前野町1-14-2	☎03 (3558)8111(代表)
大阪営業所	〒577-0013	東大阪市長田中1-3-15	☎06 (6784)2811(代表)
名古屋営業所	〒460-0002	名古屋市中区丸の内2-19-20	☎052(201)6391(代表)
福岡営業所	〒816-0082	福岡市博多区麦野4-2-6	☎092(575)5761(代表)
仙台営業所	〒983-0852	仙台市宮城野区榴岡1-6-8	☎022(299)7161(代表)
札幌営業所	〒007-0834	札幌市東区北34条東22-1-35	☎011(786)5611(代表)

ホームページアドレス　http://www.tanita.co.jp

お問い合わせ先　フリーダイヤル 0120-133821
受付時間 / 9：00～18：00（土・日・祝祭日は除く）
お客様サービス相談室 〒174-8630 東京都板橋区前野町 1-14-2

200401 (2)